

**製品名: 嗅覚受容体 52A4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15257**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	35kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OR52A4
別名	OR52A4; Putative olfactory receptor 52A4
遺伝子 ID	390053.0
SwissProt ID	A6NMU1
免疫原	抗血清はヒト OR52A4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

**背景**

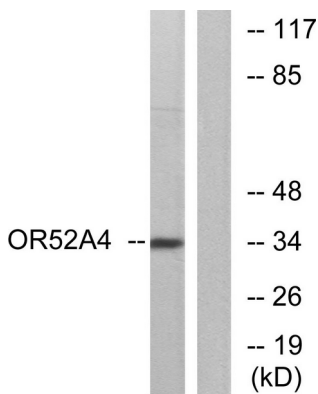
嗅覚受容体は鼻の中の嗅覚分子と相互作用し、匂いの知覚を引き起こす神経反応を引き起こします。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーのメンバーです。嗅覚受容体は、

多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と7つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識とGタンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子およびタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。当初は機能的な嗅覚受容体と考えられていましたが、このファミリーメンバーは、他のファミリーメンバーと比較してC末端フレームシフトが存在するため、現在では擬似遺伝子であると考えられています。注意: 擬似遺伝子の産物である可能性があります。C末端領域が切断されフレームシフトしている。類似性:Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。、

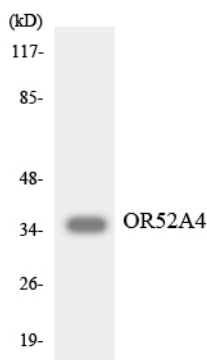
## 研究分野

-

## 画像データ



OR52A4 抗体を用いた MCF-7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



OR52A4 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。